

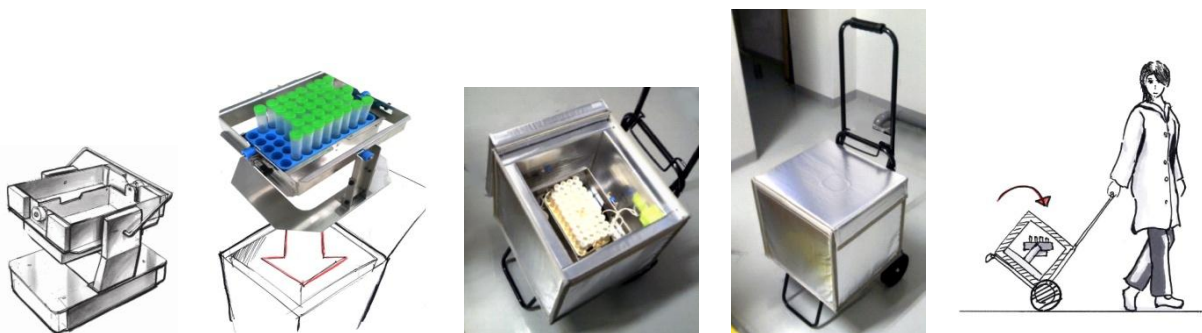
2013年6月21日

業界初、スイング機構内蔵のキャスター付き保冷箱を製品化

—血液・試薬・治験薬などの試験管・シャーレ専用—

情報管理ソリューションのトッパン・フォームズ株式会社（以下、トッパンフォームズ）は、高機能保冷剤「メカクール」を使用した定温輸送用ソリューションの新アイテムとして試験管・シャーレ専用の「搬送トレー」を組み込んだ業界初（当社調べ）となる「キャスター付き定温輸送保冷箱」として本日より販売を開始します。

この「搬送トレー」は、スイング機構により保冷箱の中の搬送物が常に水平な状態を保つ構造になっています。これをキャスター付き保冷箱に組み込むことで、内容物の流出や変形を防ぎ、安心・安全でしかも楽に搬送できる定温輸送保冷箱の提案が可能となりました。



【開発の背景】

受託臨床検査会社は、病院で採取された血液などを集荷して自社のラボで分析業務を行います。血液などの検体は定温輸送が必要なため、通常、保冷剤をセットした保冷箱を用いて回収していますが、重い保冷箱を担いで1日に複数の病院を回る業務は運搬者に非常に負担が掛かります。特に女性には大変な負担となっていました。また、保冷箱を肩に担いで運ぶ際に、保冷箱の揺れにより血液や検体などの液体物が蓋に付着することもあり、蓋に着いた液体が作業者に飛び散ることのないように作業マニュアルを作成している企業もあります。何より貴重な試薬や治験薬、細胞サンプルなどを品質を損なわずにより安全に運ぶ搬送方法が望まれていました。

そこで、運搬時に保冷箱内の搬送物が常に水平状態を保つことで、内容物の流出や変形を防ぐ業界初となるスイング機構を利用した搬送トレーを開発し、それを保冷箱に組み入れ、かつキャスターを取り付けて搬送者の負担を軽くした定温輸送保冷箱を開発しました。また、この搬送トレーは、熱電導の良い放冷板を組み込んでおり、移動時に保冷剤の冷気を効率良く伝えることも可能となりました。

【特 長】

1. 保冷箱用のスイング機構付き搬送トレーは業界初となります。
2. トレーに試験管立てをセットすれば、運搬時に試験管中の液体が常に水平に保たれるため、内容物が流出する心配がありません。
3. 熱電導の良い放冷板の効果で、保冷剤の冷気を効率良く伝えることができます。
4. スイング機構により密閉された保冷箱内の空気が攪拌され、保冷箱内の温度が均一になりやすくなります。
5. 温度や入出庫などの履歴管理システムも利用可能です。(オプション)

【今後の展開】

今後、臨床検査会社を始め、より高品質な管理が求められる再生医療分野を中心に物流業者などへも販路を広げ、「メカクール」 for Medical 関連で 2014 年度までに 10 億円売り上げを見込みます。

※ 「メカクール」 for Medical は、高機能保冷剤「メカクール」と特殊ポケットを装着した専用保冷箱を組み合わせた 2 つの温度領域専用(冷蔵 2℃～8℃、常温 15℃～25℃)の定温輸送用ソリューションです。この保冷剤は、業界で初めて日本海事検定協会から、“可燃性物質に該当しない”との認定を受けており、安心して輸送にお使いいただけます。

以上

※ 「メカクール」は、トッパン・フォームズ株式会社の登録商標です。

本ニュースリリースに関するお問い合わせ先

トッパン・フォームズ株式会社 社長室広報部 TEL:03-6253-5730